



## ■ ～お薬手帳って何の意味があるの！？～

みなさんはお薬手帳をお持ちですか？

『家にはあるけど……今は持っていない……』という声をたびたび耳にします。  
お薬手帳は、処方されたお薬の名前や飲む量、回数などの記録を残すための手帳です。

では、この手帳がどのように役立つのでしょうか？ 少しご紹介したいと思います。



### 1. 飲み合わせの悪いお薬があるかもしれない！？

小児科と耳鼻科……産婦人科と内科……など、複数の医療機関を受診すると、新たに処方されたお薬と既に飲んでいるお薬の飲み合わせによっては、効果が下がってしまったり逆に効きすぎてしまうことがあります。お薬手帳を持っていれば、医師や薬剤師が飲み合わせを考え、より良い処方を行うことが出来るようになります。市販のお薬や、サプリメントもメモしておくといいですね。

### 2. 同じ成分のお薬を飲んでいるかもしれない！？

お薬の名前は違っていても、同じ成分や同じ様な働きをするお薬があります。お薬手帳を確認することで重複投与を防ぐことが出来ます。

### 3. お薬のアレルギー・副作用を防ぐことが出来る！？

今までにお薬によるアレルギー・副作用がある方はお薬手帳に記録しておくことで、それらのお薬を避けることが出来ます。

またどんなお薬が服用出来るのかを推測することが出来ます。例えば「抗生剤」と言っても、沢山の種類がありますので、どの種類の抗生剤で副作用が出て、どの種類の抗生剤では副作用が出なかったのかを、確認することが出来るからです。



このようにお薬手帳は大変便利で、みなさんの健康を守るのに役立つものです。

お薬を安全に使用するために医師や薬剤師などが情報を共有し、効果的な治療につなげていくことが出来ます。病院に受診する時や保険薬局でお薬をもらう時は、ぜひお薬手帳をご持参下さい。

※お薬手帳は、保険薬局でつくってもらうことができます。

担当：薬剤部 三田 裕